

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 1 区分
【発行日】令和 4 年 4 月 20 日(2022.4.20)

【公開番号】特開 2020-151713(P2020-151713A)
【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)
【年通号数】公開・登録公報 2020-039
【出願番号】特願 2020-100906(P2020-100906)
【国際特許分類】

B 0 1 J 13/14(2006.01)

10

C 0 8 G 12/32(2006.01)

【F I】

B 0 1 J 13/14

C 0 8 G 12/32

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 1 日(2022.3.1)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

20

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カプセルを製造するための方法であって、

界面活性剤、コア物質及び水を含むエマルジョンを調製する工程；

エマルジョンへ架橋剤を添加し、選択された粒径となるようエマルジョン中に架橋剤を均質化して、全体的に均質化されたエマルジョンを形成する工程であって、

前記架橋剤は、環状尿素(U)と多官能アルデヒド(A)の反応生成物を含み、

そのヒドロキシル基は、1つまたは複数の直鎖、分枝または環状脂肪族アルコールで場合

30

によりエステル化される、工程；

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを、混合しながら均質化エマルジョンに添加し、その後メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを重合する工程

を含み、

前記メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1:1から4:1の重量パーセント比で存在する、方法。

【請求項 2】

エマルジョンを調製する工程が、界面活性剤及び水を含む水性相を調製すること、相変化物質を溶解すること、ならびに、相変化物質の溶解に続いて、混合及び加熱しながら相変化物質を水性相に添加することを含む、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 3】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを添加する工程が、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第一の添加とそれに続くメラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第二の添加を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

得られるカプセルは、カプセルが製造された後、100ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1.5:1から3.75:1の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルは、カプセルが製造された後、20ppm未満の最

50

初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

得られるカプセルが、1.0 μm から 10000 μm の平均粒径を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して 1.5:1 の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルは、カプセルが製造された後、10 ppm 未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

カプセルを製造するための方法であって、

界面活性剤、コア物質及び水を含むエマルジョンを調製する工程；

架橋剤を含むメラミンホルムアルデヒドプレポリマーを調製する工程であって、

前記架橋剤は、環状尿素(U)と多官能アルデヒド(A)の反応生成物を含む、工程、

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを混合しながらエマルジョンに添加し、その後メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを重合する工程

を含み、

前記メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して 1:1 から 4:1 の重量パーセント比で存在する、方法。

【請求項 9】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを添加する工程が、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第一の添加とそれに続くメラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第二の添加を含み、第一の添加物、第二の添加物、またはその両方が架橋剤を含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

第一の添加物と第二の添加物の両方が架橋剤を含み、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して 1.5:1 から 3.75:1 の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルが、カプセルが製造された後、60 ppm 未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

第一の添加物と第二の添加物の両方が架橋剤を含み、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して 1:1 から 1.5:1 の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルは、カプセルが製造された後、40 ppm 未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

得られるカプセルが、カプセルが製造された後、45 ppm 未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

得られるカプセルが、カプセルが製造された後、75 ppm 未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

第二の添加物が架橋剤を含み、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して 1:1 から 1.5:1 の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルが、カプセルが製造された後、40 ppm 未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 1 または 8 に記載の方法により製造されるカプセルであって、

架橋剤と反応する、メラミンホルムアルデヒドを含むポリマーウォールを有し、

架橋剤の環状尿素が、メラミンホルムアルデヒドのアミン、アルコール及びエーテル部分と相互作用する、カプセル。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】図面

10

20

30

40

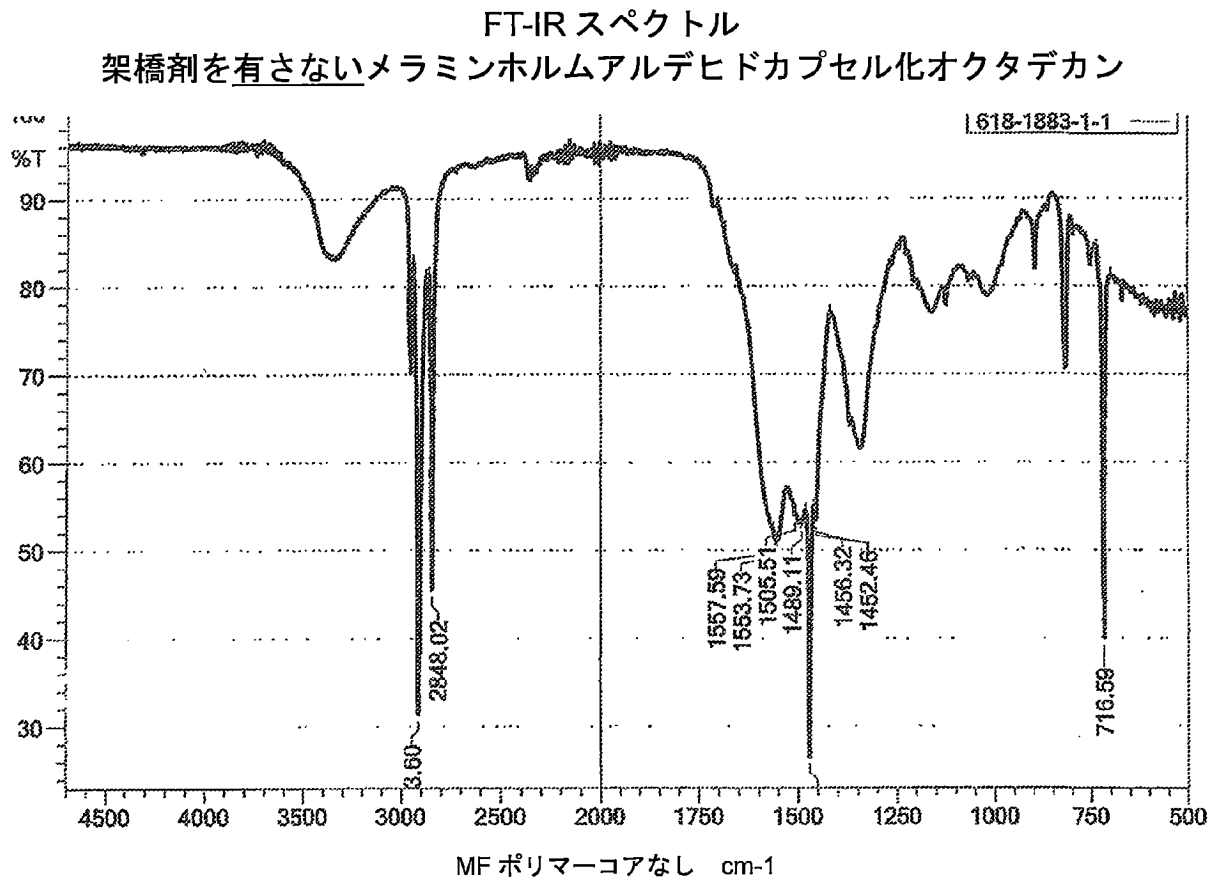
50

【訂正対象項目名】図 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 5】



	ピーク	強度	対応強度	ベース(H)	ベース(L)	エリア	対応エリア	コメント
1	716.59	40.05	42.99	732.98	697.30	902.891	292.844	
2	1452.46	53.37	1.91	1454.39	1415.81	1251.103	-77.248	
3	1456.32	53.81	0.80	1458.25	1454.39	176.607	1.496	
4	1470.79	26.49	26.25	1473.50	1456.25	1091.026	175.820	
5	1489.11	52.98	0.47	1491.04	1478.60	680.883	2.890	
6	1505.51	53.95	0.47	1513.22	1503.58	435.254	0.464	
7	1553.73	51.04	0.38	1555.66	1550.89	235.317	0.985	
8	1557.59	51.98	0.42	1561.44	1555.66	279.068	0.969	
9	2848.02	45.52	36.45	2865.38	2793.05	1406.294	448.290	
10	2913.60	31.37	50.65	2844.46	2878.88	2324.032	1141.981	

10

20

30

40

50